

2020年2月20日

第161回 日経調セミナー

講演資料

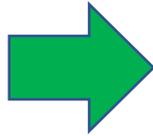
# 「思い」と「場」が地域を変える ～プラットフォームは地方創生の基盤～

(株)地域経営プラチナ研究所  
代表取締役 平尾 勇

# 地域における当事者の2つの姿

## <事例1>

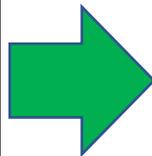
「駅前テラス」



地域に対する「**思い**」を地域にある古い市場という「**場**」を活用して駅前に賑わいの拠点を作った

## <事例2>

松本地域  
健康産業  
推進協議会



行政が音頭をとって、健康への「**思い**」を共有する民間企業、各種団体、大学、NPOなどの情報交流の「**場**」を創り、ヘルスケア産業振興と市民の健康増進を同時に達成した

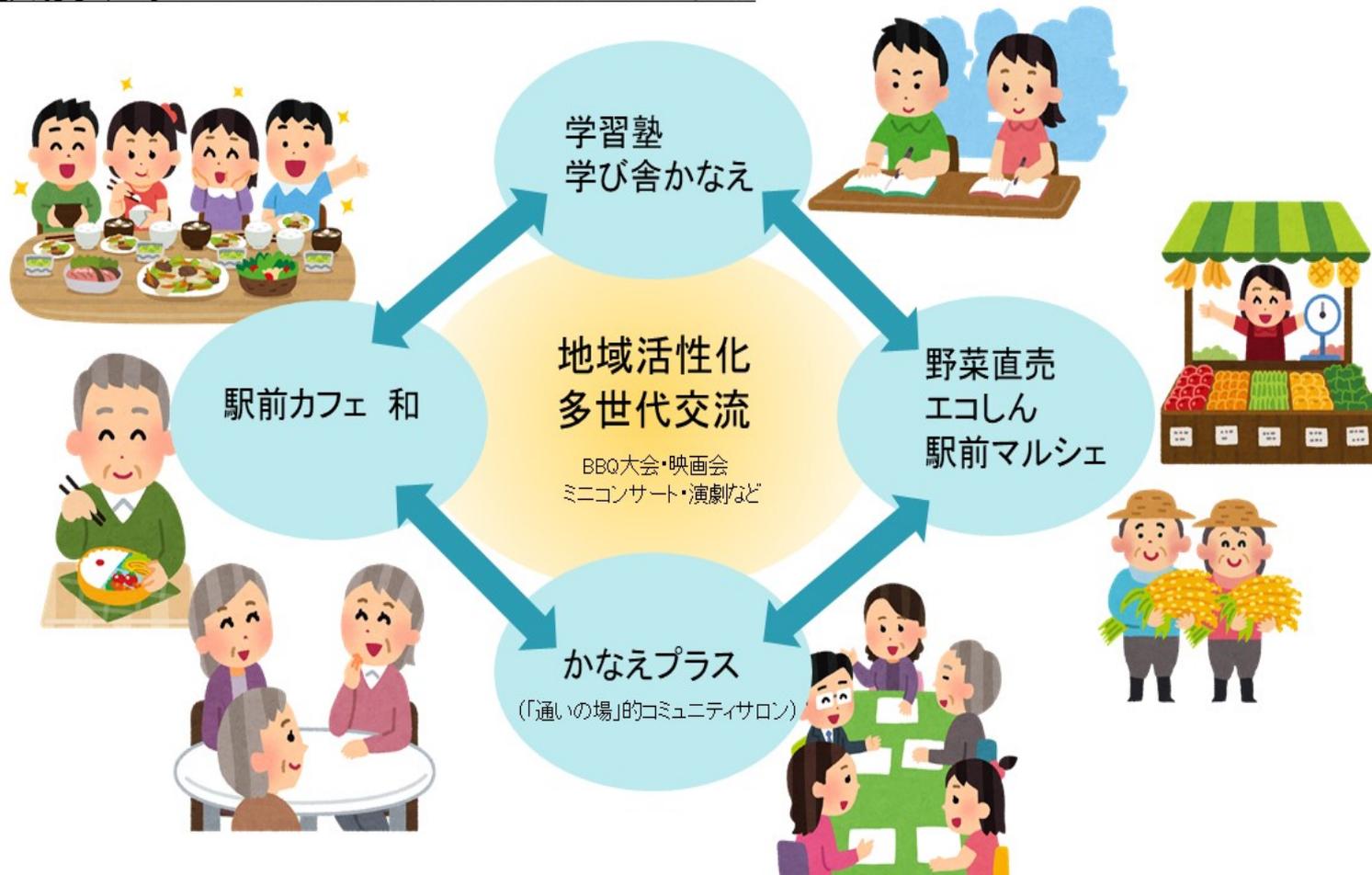
# <事例1>「駅前テラス」:長野市川中島駅前 に賑わいの拠点が誕生(平成30年2月)





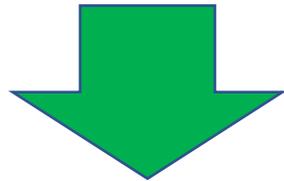
# 「思い」を持つ人に、人は集まり、それを受け止める「場」があれば人のつながりが広がる

## 駅前テラス ごちゃまぜ多世代交流の文化拠点



# かつての丸川市場が多世代を集う「場」に変身

- 産地の青果問屋と市場(いちば)は生産者と商人と消費者が集まり、地域の記憶が集積する場所であった
- この丸川市場で「池田2号」が「川中島白桃」と命名された



そして現在、リノベーションによる  
多世代ごちゃまぜ拠点

- 学習塾「かなえ」: Eラーニングによる個別指導  
※経営者である安部さんの最初の赴任地が飯田市「鼎(かなえ)中学校」であったことに由来する
- 駅前カフェ「和(なごみ)」: 子供たちの夕食、シニアのくつろぎのカフェ、マルシェのお客さんもコーヒーの仲間
- エコしんの駅前マルシェ: 地物の採れたて自然派野菜の直販
- かなえプラス: みんなが集まるサロン、映画上映、趣味の教室

# 「駅前テラス」成功の秘訣は6つ

- ①川中島銀座商店街とそこに市場(いちば)があった風景を取り戻したい、という地域への強い思い
- ②行政に依存するのではなく、仲間とともに創り上げる、という自立志向を大切にする
- ③子供から大人まで、働く人から趣味の人まで、時間のある人もない人もみんな集まれ、というオープンマインドを大切にする
- ④町内会、公民館、生産農家を巻き込んで、地域内のネットワークをつくり、信頼関係を構築する
- ⑤仲間を増やすというスタンスで、地域への情報発信を積極的に行う
- ⑥持続可能な経済基盤を大切にし、適切な価格によるサービスの提供を心がける

# <事例2> 官民連携の共通の思いを追求する

地域にとっては・・・

財政的・人的制約で  
望ましいサービス提供が  
困難

解決すべき  
社会的ニーズ

民間企業にとっては・・・

連携による  
成果

## <行政課題>

- ・生活習慣病改善
- ・疾病・認知症予防
- ・仲間づくり
- ・外出促進等生活の質の向上
- ・ソーシャルキャピタルの形成  
(社会的な絆、地域社会との絆)

地域包括ケア  
の構築・展開

利益

# 身近なところで健康意識の醸成

【ローソン:コンビニの駐車場で市の保健師が健康相談】



- ・L店舗駐車場内にテントを設置し、市の保健師が来店者に対し無料で健康相談を実施
- ・健康意識、予防意識の浸透

【松本信金:金利上乘せ型健康寿命延伸定期積金】



- ・健康診断を実施した預金者には通常の金利0.03%に上乘せして0.2%に
- ・受診を勧めて各種検診の受診率向上を図る

# 歌うことと仲間づくり、そして地域への貢献

## 【第一興商：スポーツボイスでゴスペルを歌う】



- ・定年退職後の男性引きこもりの解消
- ・男性シニアの外出促進と地域コミュニティへの貢献
- ・カッコいいシニアの演出
- ・生涯現役という生活のハリ、Q O Lの向上



松本ハーモニーホール  
での発表会

# 地元の大学・工業高校との共同研究

【テスコム：真空に近い状態を保つミキサー】



GOOD DESIGN AWARD 2016

世界最高峰エベレスト頂上の鮮度を。

ボトル内をエベレストの頂上と同じ気圧(0.3気圧)に。この酸素が限りなく少ない真空状態が、野菜や果物の鮮度を極め、最上級のおいしさをつくります。

●TMV2000

●TMV2000VT

※真空とは、大気より低い圧力の状態のことを意味します。  
※効果などのため、写真とは異なる場合があります。

TESCOM

gokusen 極鮮

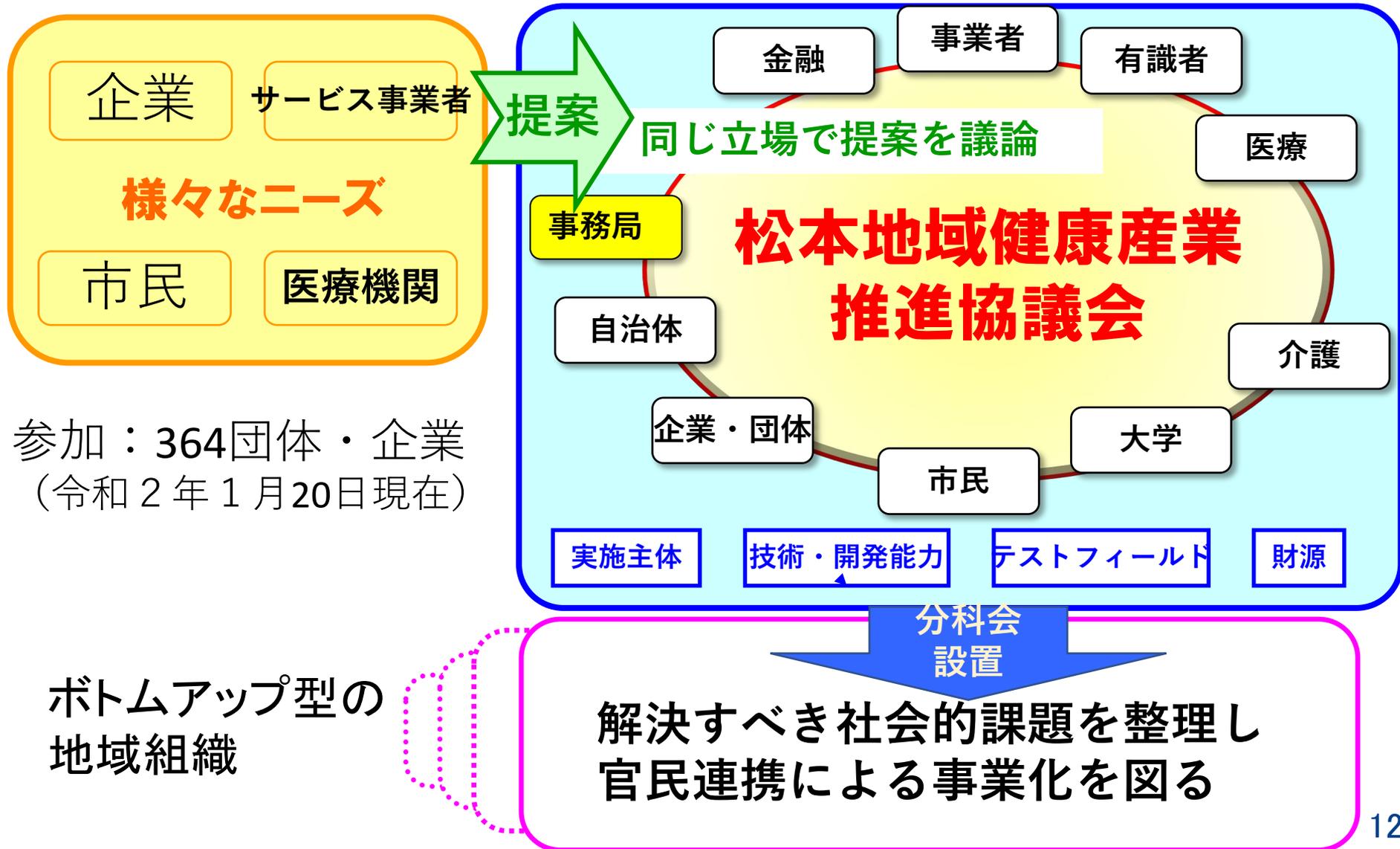
工業高校生とものづくり企業がコラボ  
【前方大車輪 自走式ラフロード車いす】



- ・「障害のある方も、できるだけ自力で思うように移動して欲しい」
- ・自転車の変速機を応用し、小さな力でも障害物を乗り越えられるよう工夫

- ・松本大学との共同研究
- ・スムージー実飲試験により、肌の赤みやメラニンの生成抑制効果などを検証

# 「健康」を共有する「場」は大きな力を発揮

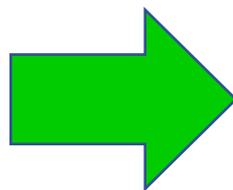


# 「場」を創ることが新たな行政の役割

## ＜行政の役割＞

サービス・  
プロバイダー

(サービス提供の役割)



プラットフォーム・  
ビルダー

(仕組みを作る役割)

社会的課題解決のための手段を行政だけで抱え込まずに、地域の企業・団体・大学・市民を巻き込む「場」で受け止める  
これがプラットフォームであり、地方創生の基盤である

# 最後に、2つの事例から学ぶ7つこと

- ①「**思い**」を持つ人を地域全体で盛り立てて、仲間として応援すること
- ②空き店舗や空き家、空き倉庫など地域内の「**場**」を広く情報収集し発信すること(行政の役割)
- ③市民・民間企業・大学・業界団体・NPO等に対して、行政の権威ではなく、フラットな関係による対話が「**思い**」の共有には不可欠である
- ④単に「会話する(Conversation)」ことではなく、まして「聞き置く(To listen)」ことでもない、「**場**」において必要なことは、「対話する(Dialogue)」ことである
- ⑤そのために地域ビジョン(「**思い**」)を共有し、共に知恵を出すプラットフォーム(「**場**」)を形成することが行政の最も重要な仕事である
- ⑥プラットフォームの構成員が薄く広く、地域みんなで事業リスクを分散する仕組みがあって始めて、地域内の投資が活発化し、起業家の背中を押すこととなる
- ⑦住民の力、企業の力、大学や業界団体の力を引き出すプラットフォームという「**場**」は地方創生の基盤といえる